

ボランティアのみなさまへ ＜お願いと注意＞

子どもたちに対して

- 年齢や性別、心身の健康状態やその他の状態に関わらず、すべての子どもに平等に接してください。
- 子どもに対して不適切な言葉（子どもの尊厳を傷つけるもの、見下したような表現等）を使ったり、そのような態度、行為をしないでください。
- 子どもと閉鎖的な空間で二人きりになることは避けてください。
- 子どものプライバシーを守ってください。無断で写真を撮ったり、子どもと話したことや個人情報を、その子どもが特定できる状態で人と共有したり、他者に発信したりしないでください。
- 守りきれない約束（「また〇〇君に会いに来るよ」、「必ず手紙書くね」等）はしないでください。
- 子どもが何かの被害を受けている恐れがある場合、また危険な状態にあると思われる場合は、責任者、日本ユニセフ協会担当者に報告してください。
- 子どもの行動に対して対応に困ることがあったら、先生や日本ユニセフ協会担当者に相談してください。

周囲の方々に対して

- 子どもだけでなく、被災地で接する方（先生方、お店の方、宿泊施設の従業員の方々、子どもの保護者等）の多くは被災されています。活動時間以外でも、被災地に滞在中は被災された方々の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーのある行動と言葉使いで接してください。
- 被災された方（子どもを含め）を、弱者と見なさないでください。
- 被災された方からお話を聞くときには、詳細に聞いたり、安易に「お気持ちはわかります」などと言ったりしないようにしてください。また、聞かれていないのに自分の体験を話したりしないでください。

自分自身に対して

- 被災に関する話を聞くと、自分自身も傷つくことがあります。これは自然なことです。リラックスしたり、安心できる相手に話をしたりして、自身の心身の安全、安心を確保してください。
- 支援したいという気持ちや緊張から、過剰に活動してしまうことがありますので、気をつけてください。

同意書

私は、ボランティアのみなさまへ お願いと注意 を読み、理解し、守ることに同意します。

_____年 ____月 ____日
氏名 _____